

# 社会教育課・再修正案

資料

提言目次案 9/25			
部	章	節	内容
1	はじめに（事務局）		
			・ これまでの経緯～目的～対象～「家庭教育」とは～「家庭教育と現代社会」
2	本編		
	1	子どものライフ・ステージと家庭の処方箋	
		1	乳幼児（鈴木委員）
		2	未就学児（鈴木委員）
		3	小学生（萩原委員）
		4	中学生（松本委員）
		5	高校生（松本委員）
	2	1～5	グラフィックをステージごと作成し添付（委員）
	(はさみ込むコラム) 提出済（八木委員、熊谷委員）		
		1	語りかけることの重要性
		2	聞くことは待つこと
		3	身近なエコライフを家族で話そう
		4	いのちを輝かせて生きる
		5	ともに喜び ともに悲しむ
3	提言 及びまとめ（委員）		
			・
付録、または資料（必要であれば			
			「現代の家庭」(解説、データ)
委員名簿（事務局）			
活動実績（事務局）			
条例（事務局）			

委員委嘱区分の  
該当委員から指定

400字程度に揃える

スマホ、コロナ等、新しい話題の扱い

## 作業日程(案)

- 10月 本編(ライフステージ) 執筆（ファシリテーション記録の吟味を伴う）  
第4回会議(下旬～翌月上旬)
- 11月 はじめに、提言(まとめ)、グラフィック
- 12月 第5回会議(中旬)…全体の流れを確認
- 令和3年1月 ほぼ完成まで進める
- 2月 第6回会議 →3月または4月 教育委員会定例会で報告